



白小だより

【教育目標】
ゆたかに
かしこく
たくましく

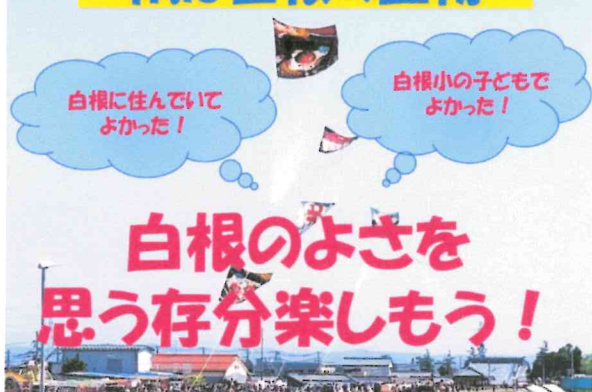
【白根に生きる子ども～白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～】を目指して!

白根に生きる子ども ～白小が大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～ ＜大凧合戦を終えて＞

☆『大凧合戦期間中に、白根に住んでいてよかった、白根小の子どもでよかった、ときっと感じるのではないかと思います。その唯一無二の白根の良さを思う存分楽しんでください。』と、白根小恒例の「凧朝会」で呼びかけました。

☆創立150周年記念の昨年度と同様に、今年度も5日(水)の子ども大凧合戦、6日(木)の凧パレードと、白根っ子たちが、大凧合戦を楽しみ、活躍する姿が見られました。きっと白根のよさをたっぷりと味わった6日間だったのではないのでしょうか。子どもたち、そして私たち教職員にも大きな楽しみと達成感を与えてくれました。

～凧は白根の宝物～



白小の新しい伝統 【凧パレード】



★昨年度に引き続き、4・5・6年生が「凧パレード」に参加しました。白小グラウンドでの4～6年生全員による「越後南区大凧のまち」パフォーマンス発表の後、5年生は7組の大凧組、4年生は35組の巻凧組と一緒にパレードに参加しました。6年生は、北條医院さん前と土手の統合本部前で、かけ声も勇ましく堂々とかっこよく「越後南区大凧のまち」を披露しました。

★昨年度、白根小創立150周年の記念の年に、新しい伝統を創ろうとリニューアルした【凧パレード】が、白根小の新しい伝統として、パワーアップして引き継がれています!

新生【白小凧連】参戦!

☆白根小職員による「白小凧連」は、今年度は、7日(金)・8日(土)・10日(月)の3日間参戦しました。国内外で有名な地域の一大イベント「白根大凧合戦」に、主役の一員として参加できる…。まさに白根小教職員だからこそ味わえる唯一無二の醍醐味です。

☆参戦とは名ばかりで、まずは土手に上がって白小凧をあげる!!それだけでも、凧綱を握り心をつ一つにして「いくぞー!」と意気上がる一方で、和気あいあいとした雰囲気をもし出す。そこに「白小凧連」のよさがあります。これこそが、「白根に生きる子ども～白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～」を目指す白根小、地域とともに歩む白根小の姿です。

☆いよいよ凧が終わると、総合的な学習の時間等で各学年が地域に出かけ、関わる活動が行われます。また、やぎと関わり野菜を育て世話をする活動でも、保護者の皆様や地域の方々のご支援、ご協力が欠かせません。大凧合戦を終えた今、地域との結びつきを、長年に渡って大切にしてきた白根小の伝統をこれからも大切に守り続けていきたいと思ひます。